

第16回 持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム【ISAP2024】
「地球のトリプル・クライシスを乗り越えるために必要な統合的アプローチとは」開催



公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)は、第16回持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム【ISAP(アイサップ)2024】全体会合を2024年7月23日(火)にパシフィコ横浜で対面とオンラインのハイブリッドで開催します。また、テーマ別会合を2024年7月～11月の期間にオンラインで開催します。

ISAPは、国際的に活躍する専門家や政府・国際機関・企業・NGO関係者等が集い、持続可能な開発についてアジア太平洋の視点から議論を行うフォーラムです。ISAP2024では、全体テーマ「地球のトリプル・クライシスを乗り越えるために必要な統合的アプローチとは」(*"Taking an Integrated Approach to Overcome the Triple Planetary Crisis"*)の下、気候変動、生物多様性の損失、そして環境汚染という「トリプル・クライシス」(三重の危機)に直面する中で持続可能な社会への変革をどのように加速していくかを議論します。

現在、持続可能な開発目標(SDGs)、パリ協定、昆明・モントリオール生物多様性枠組などの世界目標に向けて野心的な取り組みが進められていますが、それぞれの進展は遅く、断片的なものとなっています。一方で、これら目標間のシナジー(相乗効果)を最大化し、トレードオフを最小化することが、トリプル・クライシスへの対応の鍵となることが科学的に明らかになりつつあります。こうした中、今回のISAP2024では、気候変動、生物多様性の損失、環境汚染、そして持続可能な開発の諸課題を俯瞰する統合的アプローチに焦点を当て、IGESの研究成果等をもとに、同アプローチに基づく様々な取り組みがアジア太平洋地域の意思決定にどのような影響を与え、世界的な変革への道を拓くことができるか検討します。

ISAPの詳細・参加申込はISAP2024特設ウェブページをご覧ください。

<https://isap.iges.or.jp/2024/jp/index.html>

開催概要

- 1)日程: 2024年7月23日(火) 全体会合 9:00 - 17:50
- 2)会場: 全体会合 パシフィコ横浜(横浜市みなとみらい21地区)とオンライン視聴のハイブリッド
テーマ別会合 オンライン 開催期間 2024年7月～11月(日時未定:詳細決定次第順次、特設ウェブページでお知らせしてまいります)
- 3)全体テーマ: 「地球のトリプル・クライシスを乗り越えるために必要な統合的アプローチとは」
- 4)主催: 公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES)
- 5)言語: 日本語/英語(同時通訳付き)※一部、同時通訳なしのテーマ別会合あり
- 6)参加費: 無料

7)参加方法: ISAP2024 特設ウェブページよりお申し込みください
<https://isap.iges.or.jp/2024/jp/index.html>

【ISAP に関するお問い合わせ】

ISAP2024事務局

E-mail: isap2024-info@iges.or.jp

【このプレスリリースに関するお問い合わせ】

公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 広報担当: 平山(庄)

Tel: 070-5596-5924 e-mail: iges_pr@iges.or.jp

持続可能なアジア太平洋に関する国際フォーラム (ISAP)とは

地球規模の環境課題に取り組むために、世界で最も人口の多い地域であるアジア太平洋の果たす役割は大変重要です。IGES では、多くのステークホルダーと協働して、アジア太平洋地域の持続可能な開発に関する多様な議論を行う ISAP を 2009 年から毎年開催しています。ISAP の目的の 1 つは、ISAP に関わる多様なステークホルダー間の情報共有や議論を促進し、互いの信頼関係を深め、連携を強めることです。2 つ目の目的は、地球環境問題に関心を持つ一般の方々に世界的な議論の進展や最新の研究動向に触れていただき、持続可能な社会の構築に向けた素地を共に作っていくことです。特に、日々、環境課題に取り組んでいる自治体の担当者、IR やサステナビリティ部門で最新情報を収集する企業の担当者、国際的な議論が日本に及ぼす影響や世界と日本のギャップについて取材するメディアの方々に、実務に役立つ情報収集やネットワーキングの場として活用いただけることを目指しています。

<https://isap.iges.or.jp/2023/jp/index.html>

公益財団法人地球環境戦略研究機関(IGES: Institute for Global Environmental Strategies)について

IGES は、アジア太平洋地域における持続可能な開発の実現に向け、国際機関、各国政府、地方自治体、研究機関、企業、NGO などと連携しながら、気候変動、自然資源管理、持続可能な消費と生産、グリーン経済などの分野において実践的な政策研究を幅広く行っています。1998 年、日本政府および神奈川県の実績により設立。本部は神奈川県葉山町に所在し、約 150 名の研究者を擁し、その 3 分の 1 強が外国籍。関西(兵庫県)、北九州、北京、バンコク、東京の各センター・事務所と共に、グローバルおよびアジア太平洋地域のネットワークを生かした戦略研究を展開しています。

<http://www.iges.or.jp/>